

# 市営住宅集会所を活用した多文化多世代の地域コミュニティ拠点づくり事業

公益財団法人神戸 YWCA

## 1. 事業が目指すところ

### 人と人とが出会い、つながり、活動するサードプレイスとなる

神戸 YWCA は、2023 年 4 月から市営 HAT 神戸・灘の浜南集会所「なだのはまエイト」で、活動を開始した。HAT 神戸灘の浜は、阪神淡路大震災の災害復興住宅として、UR、県営、市営住宅が建設された地域である。孤立や孤独が社会問題になる中、神戸 YWCA がこれまで行ってきた様々な地域福祉活動の経験を生かして、引き続き多文化多世代の地域コミュニティ拠点づくりに取り組む。

## 2. 活動内容



### みんなのカフェ

毎月第 3 日曜日

10:00～12:00 オープン

地域清掃への参加



### イベント開催

4 月 能登とつなぐ

9 月 歌の会

10 月 なだのはま寄席



### 野菜市とミニミニバザー

毎週金曜日

13:00～14:00 開催

クリスマスバザー



### なだのはまエイトだより

毎月 1 回発行。11 月から印刷を業者に発注しカラー刷りに変更。市営・県営住宅全戸に配布。



### 地域コミュニティとの関係づくり及び地域調査

地域の方もメンバーとして企画ミーティングに参加。ヒアリング実施予定。

## 3. 成果と課題

活動 3 年目に入り、月 1 回の「みんなのカフェ」は定着し、毎週金曜日の「野菜市とミニミニバザー」も好評で、どちらも参加者が増加している。地域の方々と顔と顔の見える関係ができ、企画ミーティングへの参加、バザーへ寄附、なだのはまエイトの応援団として等、様々な形で参画する人が増えた。活動を継続する中で、参加者、ボランティア等、関係人口が増えている。イベント企画では、試行錯誤し、ニーズを探った。昨年度より広報紙「なだのはまエイトだより」を発行、毎月 850 部を市営・県営住宅にポスティングしているが、白黒コピーからカラー印刷に変更したことも、参加者増につながった。

課題としては、孤立や孤独へのアプローチや、多文化へのアプローチが不十分であった。今後ヒアリングを進めて方策を探りたい。また、活動継続のための資金とコーディネーターの不足も課題である。

## 4. 今後の展望、成果の活用

活動を継続することで、今後も新たに活動に参画する人が増えると予想される。人が出会い繋がり活動する、多文化多世代の地域コミュニティ拠点づくりに向けて、新たな活動展開を模索したい。